

# 洲本市立小・中学校の未来を考えていきます

## 現在の市立小・中学校

● : 市立小学校 (13校)      ▲ : 市立中学校 (5校)



広田小・中学校は南あわじ市との組合立のため記載を省略

## 1 児童生徒数の推移

2040（令和22）年の人口を推計した「新洲本市総合戦略人口ビジョン」によれば、総合戦略（人口減少抑制策）を講じない場合の年少人口は、2020（令和2）年国勢調査人口の約7割となることを見込まれています（趨勢人口）。一方で、総合戦略を通じて実現をめざす目標人口としては、2020（令和2）年国勢調査人口から逆に3%程度増加することを見込んでいます（戦略人口）。

2020（令和2）年における児童生徒数は、小学校1,862人、中学校949人の計2,811人であったことから、趨勢人口並みに減少していくとした場合、小学校約1,280人、中学校約650人の計1,930人となります。一方で、戦略人口並みに推移した場合、小学校約1,920人、中学校約980人の計2,900人となります。

なお、近年の実際の児童生徒数についてみてみますと、2023（令和5）年における児童生徒数は、小学校1,742人、中学校932人の計2,674人となっており、2020（令和2）年に比べ、小学校で120人（約6%）、中学校で17人（約2%）、計137人（約5%）の減少となっています。

### 【参考】新洲本市総合戦略人口ビジョンにおける洲本市の人口

区分	年	2040（令和22）年	
	2020（令和2）年	趨勢人口	戦略人口
人口総数	41,236人	29,586人	32,972人
うち年少人口（15歳未満） 〈人口総数に占める割合〉	4,339人 〈10.5%〉	2,992人 〈10.1%〉	4,471人 〈13.6%〉
«2020（令和2）年比»	—	«69.0%»	«103.0%»

※趨勢人口：総合戦略（人口減少抑制策）を講じない場合の予測人口

※戦略人口：総合戦略を通じて実現をめざす目標人口

また、現時点での年齢別・住所別人口から今後の児童生徒数を試算すると、2026（令和8）年には、小学校1,583人、中学校892人の計2,475人、2029（令和11）年には、小学校1,354人、中学校853人の計2,207人、2032（令和14）年には、中学校735人、2035（令和17）年には、中学校619人となり、今後も減少傾向が当面の間続いていくことは避けられない状況にあります。

### 【参考】児童生徒数の推移（試算）

	2020(R2)	2023(R5)	2026(R8)	2029(R11)	2032(R14)	2035(R17)
小学校	1,862人	1,742人	1,583人	1,354人	—	—
中学校	949人	932人	892人	853人	735人	619人
計	2,811人	2,674人	2,475人	2,207人	—	—

※2022（R4）年度生まれまでを対象とした年齢別・住所別人口に基づくため、2032（R14）年度及び2035（R17）年度における小学校児童数は空欄（「—」）表記としています。

2032（R14）年度：2025（R7）年度出生者が小学1年生として入学

2035（R17）年度：2028（R10）年度出生者が小学1年生として入学

## 2 学校ごとの児童生徒数等の推移

学校ごとの児童生徒数等の推移をみると、早ければ2026（令和8）年にも、安乎小学校、鳥飼小学校で**複式学級**（2学年以上が1学級となり、ひとりの先生によりひとつの教室で学習すること）が生じる可能性が高くなっています。その後も、2027（令和9）年には中川原小学校で、2028（令和10）年には堺小学校で、2029（令和11）年には広石小学校で複式学級が生じていくことが予想されます。その他の学校についても、例えば2029（令和11）年には、洲本第三小学校、大野小学校においても1年生が**1学級のみとなり、クラス替えができない**可能性があります。

### 【参考】学校ごとの児童生徒数の推移（試算）

	着色部分：複式学級が見込まれる学校					
	2020(R2)	2023(R5)	2026(R8)	2029(R11)	2032(R14)	2035(R17)
洲一小	96人	87人	84人	99人	-	-
洲二小	158人	121人	91人	94人	-	-
洲三小	421人	417人	372人	283人	-	-
加茂小	203人	207人	214人	216人	-	-
大野小	341人	332人	316人	261人	-	-
由良小	79人	69人	77人	68人	-	-
中川原小	61人	65人	60人	43人	-	-
安乎小	83人	77人	65人	46人	-	-
都志小	64人	60人	66人	57人	-	-
鮎原小	131人	109人	75人	56人	-	-
広石小	79人	65人	59人	54人	-	-
鳥飼小	89人	77人	52人	33人	-	-
堺小	57人	56人	52人	44人	-	-
小学校	1,862人	1,742人	1,583人	1,354人	-	-
洲浜中	167人	152人	145人	129人	124人	136人
青雲中	471人	488人	465人	482人	400人	336人
由良中	47人	38人	37人	35人	45人	23人
安乎中	35人	43人	42人	40人	29人	17人
五色中	229人	211人	203人	167人	137人	107人
中学校	949人	932人	892人	853人	735人	619人
計	2,811人	2,674人	2,475人	2,207人	-	-

※複式学級の基準（兵庫県）

小学校の連続する学年が14人以下（1年生を含む場合は8人以下）

※2020（R2）・2023（R5）については、学校基本調査による確定値（各年5月1日現在）

※2026（R8）については、小4から小6までは2023（R5）における小1から小3の数値を計上、

その他の学年については、令和5年5月1日現在の住所により校区を振り分け

※2029（R11）以降については、令和5年5月1日現在の住所により校区を振り分け

【参考】学校ごとの学級数の推移（試算）

	凡例：複式学級が見込まれる学校					
	2020(R2)	2023(R5)	2026(R8)	2029(R11)	2032(R14)	2035(R17)
洲 一 小	6 学級	6 学級	6 学級	6 学級	—	—
洲 二 小	6 学級	6 学級	6 学級	6 学級	—	—
洲 三 小	14 学級	13 学級	13 学級	11 学級	—	—
加 茂 小	7 学級	7 学級	8 学級	9 学級	—	—
大 野 小	12 学級	12 学級	12 学級	11 学級	—	—
由 良 小	6 学級	6 学級	6 学級	6 学級	—	—
中川原小	6 学級	6 学級	6 学級	4 学級	—	—
安 乎 小	6 学級	6 学級	5 学級	4 学級	—	—
都 志 小	6 学級	6 学級	6 学級	6 学級	—	—
鮎 原 小	6 学級	6 学級	6 学級	6 学級	—	—
広 石 小	6 学級	6 学級	6 学級	5 学級	—	—
鳥 飼 小	6 学級	6 学級	5 学級	4 学級	—	—
堺 小	6 学級	6 学級	6 学級	5 学級	—	—
小 学 校	93 学級	92 学級	91 学級	83 学級	—	—
洲 浜 中	5 学級	5 学級	6 学級	6 学級	6 学級	6 学級
青 雲 中	13 学級	13 学級	14 学級	15 学級	13 学級	11 学級
由 良 中	3 学級	3 学級	3 学級	3 学級	3 学級	3 学級
安 乎 中	3 学級	3 学級	3 学級	3 学級	3 学級	3 学級
五 色 中	7 学級	7 学級	6 学級	6 学級	6 学級	5 学級
中 学 校	31 学級	31 学級	32 学級	33 学級	31 学級	28 学級
計	124 学級	123 学級	123 学級	116 学級	—	—

※特別支援学級は含まず

※1学級の上限が40人から35人へと段階的に移行していくことを想定

(R2：小1、R5：小1～小4、R8：小1～中1、R11：全学年)

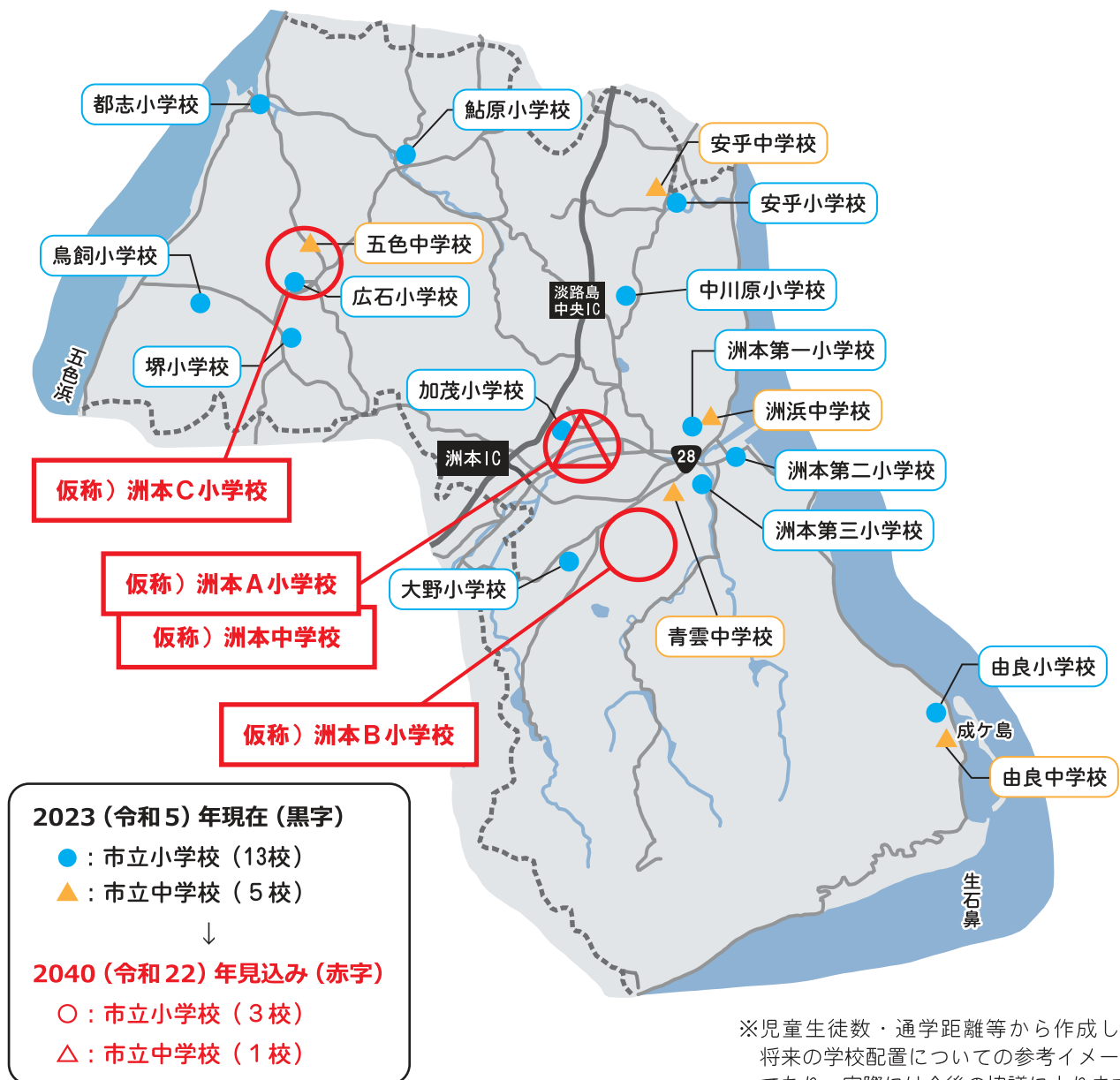
### 3 学校再編（統廃合）の必要性

児童生徒数の減少は、国全体としての人口減少社会の到来によるものであり、早期の解消は見込み難い状況にあることから、児童生徒の教育環境として、適正な規模（1学年につき2学級以上が標準）となるよう、適切な位置に学校を再配置する学校再編が全国的に進められています。それにより通学距離が長くなる場合は、小学校4km以上、中学校6km以上を目安としつつ、徒歩又は自転車による通学に支障がある場合なども考慮しながら、スクールバスが導入されています。

### 4 学校再編（統廃合）の例

児童生徒数の減少に対し、学校再編を選択する場合の例を示します。将来見込まれる児童生徒数や通学距離・時間等から作成したものであり、現時点ではあくまでも「組み合わせの参考例」に過ぎません。

2040(令和22)年ごろまでに見込まれる市立小・中学校の配置(参考イメージ)



## 前頁（5頁）に掲載した「2040（令和22）年ごろまでに見込まれる市立小・中学校の配置（参考イメージ）」についての考え方

※「組み合わせの参考例」としての「参考イメージ」であり、実際には今後の協議によります。

### ① 仮称）洲本A小学校

- ・対象校：洲本第一小学校、洲本第二小学校、加茂小学校、由良小学校、中川原小学校、安乎小学校  
※段階的に実施する場合  
中川原小学校⇒洲本第一小学校（洲浜中学校区）  
安乎小学校⇒洲本第一小学校（洲浜中学校区）  
又は加茂小学校（青雲中学校区）等から選択  
由良小学校⇒洲本第一小学校又は洲本第二小学校等から選択
- ・時 期：複式学級の解消に向け、合意が得られたとき
- ・校舎等：既存校舎等を改修して利用  
又は市内中央部に仮称）洲本中学校と隣接又は一体として建設（新築）

### ② 仮称）洲本B小学校

- ・対象校：洲本第三小学校、大野小学校
- ・時 期：適正規模（1学年複数学級）の実現に向け、合意が得られたとき
- ・校舎等：既存校舎等を改修して利用  
又は洲本第三小学校から大野小学校までの間に建設（新築）

### ③ 仮称）洲本C小学校

- ・対象校：都志小学校、鮎原小学校、広石小学校、鳥飼小学校、堺小学校
- ・時 期：複式学級の解消に向け、合意が得られたとき  
※段階的に実施する場合  
鳥飼小学校、堺小学校⇒広石小学校（五色中学校区）
- ・校舎等：既存校舎等を改修して利用  
又は広石小学校から五色中学校周辺に建設（新築）

### ④ 仮称）洲本中学校

- ・対象校：洲浜中学校、青雲中学校、由良中学校、安乎中学校  
※段階的に実施する場合  
安乎中学校⇒洲浜中学校又は青雲中学校から選択  
由良中学校⇒洲浜中学校又は青雲中学校から選択  
※将来的に1学年1学級となった場合等においては、五色中学校の編入も検討
- ・時 期：適正規模（1学年複数学級）の実現に向け、合意が得られたとき
- ・校舎等：既存校舎等を改修して利用  
又は市内中央部に仮称）洲本A小学校とともに建設（新築）

## 5 学校の紹介（令和5年度洲本市教育要覧より）

### 洲本第一小学校

所在地	洲本市宇山一丁目1-37
児童数	87名
学級数	7学級
職員数	16名
創立	1887（明治20）年5月22日
建物面積	4,313㎡
運動場面積	2,709㎡



#### 1. 教育目標

自ら学び、こころ豊かにたくましく生きる 洲一つ子の育成  
— ふるさと洲本を愛する子 —

#### 2. 経営方針

- (1) 基礎基本の確実な定着と主体的、創造的に実践する力をはぐくむ。
- (2) 命と人権を大切にし、共に生きる心をはぐくむ。
- (3) 地域に信頼される魅力ある学校づくりを進める。
- (4) 学校業務改善による子どもと関わる時間の確保。

#### 3. 努力目標

- (1) 個に応じたきめ細やかな学習指導による基礎基本の定着
- (2) ICTの効果的な活用による資質能力の育成
- (3) 道徳教育・人権教育の充実
- (4) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- (5) 言語活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成
- (6) 主体的、対話的な学習スタイルを通して深い学びへ
- (7) 職員研修の充実、教職員の資質能力の向上
- (8) 読書活動（家読）・外国語活動（英語）の充実
- (9) 学校からの情報発信の推進

#### 4. 研究テーマ

“主体的・対話的な深い学び”を実現する指導法の工夫

### 洲本第二小学校

所在地	洲本市山手二丁目1-51
児童数	121名
学級数	9学級
職員数	20名
創立	1873（明治6）年5月22日
建物面積	5,214㎡
運動場面積	8,155㎡



#### 1. 教育目標

「自主・共同・責任」  
— つながる やりぬく おもいやる —

#### 2. 経営方針

- 「無限の可能性 夢をはぐくみ 未来へつなぐ」
- (1) 助け合い、学び合いながら物事を成し遂げる力を育てる。（共同）
  - (2) 教師や地域とつながり、自己の考えを広げ深める対話的な学びができる子を育てる。（共同）
  - (3) 自分で感じ、自分で考え、自分で判断し、自分で表現する子を育てる。（自主）
  - (4) 断片的な知識ではなく、物事を深く考え困難を切り拓いていく力をつける。（自主）
  - (5) 自分を大切にし、他人を大切にできる子を育てる。（多様性の尊重）（責任）
  - (6) 多様な体験を通して、様々な命・ものを大切にできる心を育てる。（責任）

#### 3. 努力目標

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」を通じた学力保障
- (2) 「どのような行動が適切か、自分で考え、決定し実行する」自己指導能力の育成
- (3) 縦割り活動を通して、異年齢とかがわる力、自尊感情や自己有用感、社会性の育成
- (4) いじめ問題をはじめとする身近な課題を主体的に解消しようとする実践的な態度の育成（包括性教育の推進・鳴門教育大学との連携）
- (5) コミュニケーション能力の育成、ふるさと意識の醸成等、グローバル化に対応した教育の推進
- (6) 家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」運動で望ましい生活習慣の育成
- (7) 身体を動かす楽しさや喜びを体感させ、主体的に健康な体づくりを目指す子どもの育成
- (8) 災害に対する正しい知識や技能の習得と主体的に判断・行動する力の育成
- (9) 人とのかかわりを通して地域に信頼される開かれた学校づくりの推進
- (10) 余裕を持って児童と向かい合う時間の確保と心の通い合う教育活動の推進

#### 4. 研究テーマ

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて  
～互いの考えを認め合い、学び合う児童の育成～

## 洲本第三小学校

所在地	洲本市物部一丁目1-49
児童数	417名
学級数	16学級
職員数	37名
創立	1920(大正9)年4月1日
建物面積	6,791㎡
運動場面積	4,200㎡



### 1. 教育目標

「一步前へ！」

－ 自立して未来を豊かに生きぬく児童の育成に向かって －

### 2. 経営方針

- (1) 自ら学び、自ら活動する児童の育成を図る。
- (2) 基礎・基本の確実な定着と主体的・創造的に実践する力を育む。
- (3) 体験活動を重視し、豊かな心や社会性を育む。
- (4) 地域にねざした特色ある教育を推進し、ふるさとを愛する児童の育成を図る。
- (5) GIGAスクール構想を進め、学習活動の一層の充実を図る。

### 3. 努力目標

- (1) 自分の考えを伝える(発信する)力の育成。
- (2) 学び合う授業を通して、確かな学力・豊かな心・健やかな体育成を図る。
- (3) 特別支援教育、生徒指導(児童理解)の充実を図る。

### 4. 研究テーマ

「子どもたちが自ら問いを持ち、探求していく姿を目指して」

－ 個別最適な学び、協働的な学びをいかして －

## 加茂小学校

所在地	洲本市下内膳470
児童数	207名
学級数	9学級
職員数	23名
創立	1875(明治8)年3月1日
建物面積	4,519㎡
運動場面積	4,370㎡



### 1. 教育目標

やる気を持ち、続けて取り組む加茂っこの育成

### 2. 経営方針

- (1) 児童・保護者・地域から信頼される安心・安全な学校づくり
- (2) これからの新しい時代を主体的に生きぬく子どもの育成
- (3) 教職員の資質向上と学校組織力の深化
- (4) 働き方改革推進による働きがいのある職場づくり

### 3. 努力目標

次代を担う子どもたちの学びを支える学校組織力の深化

－ チーム加茂で、教職員一人一人の資質向上をめざす －

### 4. 研究テーマ

こころ豊かで、主体的に行動でき、

自ら未来を切り拓く子どもの育成

－ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた

授業づくりをめざして －



# 大野小学校

所在地	洲本市大野 318
児童数	332名
学級数	15学級
職員数	32名
創立	1878(明治11)年5月1日
建物面積	4,129㎡
運動場面積	12,069㎡



## 1. 教育目標

体験を学びに、学びを实践に、实践を人格に

## 2. 経営方針

- 「個別最適な学びと協働的な学びの実現」
- 「キャリア形成と自己実現を促す教育の推進」
- 「家庭や地域の教育力を生かす学習活動の展開」

## 3. 努力目標

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心、健やかな体の育成
- (3) キャリア教育の推進
- (4) 特別支援教育の充実
- (5) 学校の組織力と教職員の資質能力の向上
- (6) 学校・家庭・地域の連携
- (7) 勤務時間の適正化

## 4. 研究テーマ

- 「ともに学び、深く考える子の育成」
- － 主体的・対話的で深い学びの授業改善を通して －

# 由良小学校

所在地	洲本市由良三丁目 3-43
児童数	69名
学級数	7学級
職員数	18名
創立	1874(明治7)年9月8日
建物面積	3,605㎡
運動場面積	2,908㎡



## 1. 教育目標

賢く 仲良く

## 2. 経営方針

- 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成をめざして
- (1) ICTを適切に活用した学習活動を推進し、工夫と活力に富んだ未来社会の担い手となる力を育む
- (2) 子どもたちの良さや可能性を伸ばし、主体的に人生を切り拓き、自己実現に向かう力を培う
- (3) 地域とともにある学校づくりを推進し、ふるさと意識の醸成と協働的に社会を創造する力を養う

## 3. 努力目標

- (1) 働きがいのある職場づくり
- (2) 持続可能な校内研修体制の充実
- (3) 体験に基づいた防災教育の推進
- (4) 子どもたちの心に響く道徳教育の充実と人権教育の推進
- (5) 特色ある教育の積極的推進
- (6) 健康・安全教育の推進
- (7) 小中連携による9年間を見通した指導体制の構築

## 4. 研究テーマ

- 小規模校の特性を生かした授業実践
- － 道徳教育を生かした豊かな心の育成 －
- － ICT機器を活用した授業力の向上 －

## 中川原小学校

所在地	洲本市中川原町中川原 988
児童数	65名
学級数	8学級
職員数	17名
創立	1893(明治26)年7月1日
建物面積	3,092㎡
運動場面積	3,039㎡



### 1. 教育目標

ジャンプ! - 「できた」をふやそう -

### 2. 経営方針

一人一人が輝く教育活動を創造し、  
力強く生き抜く力を育む学校づくり

### 3. 努力目標

- (1) 豊かで魅力ある学校づくり
- (2) 確かな学力の育成
- (3) 豊かな人間性の育成
- (4) 家庭・地域と手をつなぐ学校
- (5) 教職員の勤務時間の適正化

### 4. 研究テーマ

「できたをふやそう」の実現をめざして  
～主体的・対話的で深い学びを通して

力強く生き抜く力の育成～

## 安乎小学校

所在地	洲本市安乎町平安浦 445
児童数	77名
学級数	7学級
職員数	17名
創立	1873(明治6)年6月26日
建物面積	3,161㎡
運動所面積	2,721㎡



### 1. 教育目標

未来を切り拓く人間性豊かな児童の育成

- 一人一人が輝き、活躍できる学校 -

### 2. 経営方針

子どもがチャレンジ意欲を高め、創造性を発揮する教育活動がチームとして展開される学校をめざす

### 3. 努力目標

- (1) 学力向上への推進
- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の深化
- (3) 豊かな人間性を育てる心の教育の充実
- (4) 情報活用能力のさらなる育成
- (5) 課題探求学習の充実
- (6) 地域・家庭と連携した教育活動のさらなる推進
- (7) 働き方改革推進による働きがいのある職場づくり

### 4. 研究テーマ

次代を担う子どもたちの学びを支える学校組織力の強化  
～チームで教職員一人一人の資質向上をめざす～

# 都志小学校

所在地	洲本市五色町都志万歳 919
児童数	60名
学級数	7学級
職員数	18名
創立	1873（明治6）年9月6日
建物面積	3,931 m <sup>2</sup>
運動場面積	16,243 m <sup>2</sup>



# 鮎原小学校

所在地	洲本市五色町鮎原南谷 559
児童数	109名
学級数	8学級
職員数	16名
創立	1874（明治7）年1月10日
建物面積	4,024 m <sup>2</sup>
運動場面積	7,676 m <sup>2</sup>



## 1. 教育目標

自ら学びを進める「都志っ子」の育成

## 2. 経営方針

- (1) 自ら学び、自ら活動する児童の育成を図る。
- (2) 基礎・基本の学力の定着と個性の伸長を図る。
- (3) 体験活動を重視し、豊かな心や社会性を育む。
- (4) 地域に根ざした特色ある教育（嘉兵衛学習・だんじり唄）を推進する。
- (5) 未来に生きる子どもたちに必要な情報活用能力を身につけさせる。
- (6) 様々な危機に対応する職員集団づくりを推進する。
- (7) PTCA活動をより一層推進する。

## 3. 努力目標

- (1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実にむけたICT機器の効果的活用
- (2) 自分の考えを伝える（発信）する力の育成

## 4. 研究テーマ

自ら考え、伝え、学び合う児童の育成

— ふるさと学習とICTを活用した多様な学びを通して —

## 1. 教育目標

自分にチャレンジ みんなで笑顔

<めざす学校像>

- ・ともに伸びる学校
- ・夢をはぐくむ学校

<めざす児童像>

- ・自ら振り返られる児童（自律）
- ・ともに生きる児童（共生）
- ・自ら高められる児童（自主）

<めざす教師像>

- ・時代に応じた新たな実践に取り組む教師
- ・子どもを多面的に理解する教師

## 2. 経営方針

- (1) 子どもたちにとって…学びの場  
誠意と創意のある教育活動を展開し、子どもを中心に据えた学校づくりを進めることにより、児童一人一人の主体的な学習活動を支援する。また、さまざまな教育活動を通して自ら学ぶ意欲や基礎・基本の定着を高める。併せて、人や自然とのふれあい体験活動等を通して、たくましく、こころ豊かな心身の育成に努める。
- (2) 家庭・地域にとって…共育の場  
学校と家庭・地域との相互信頼を礎とした連携を構築し、子どもを中心とした三者が協働する「場」としての機能を持った学校づくりに努める。また、地域や先人から学ぶことを通して「ふるさと」に対する郷土愛を醸成する。併せて、学校や通学路、地域における安全確保を図るため、危機管理体制の充実を図り、安全・安心な学校づくりに努める。
- (3) 教職員にとって…「志」を実現する場  
教育目標の具現化に向け、そのプロセスを共有化することにより、相互の関係性を深める。また、教育に携わる職業を選択した「初志」を実現する場として、教職員相互の信頼の下、各個別の務めに果敢に挑戦できる朗らかな職場づくりに努める。

## 3. 努力目標

- (1) 生きる力を育む教育実践  
子どもたち自らが考え（思考）、判断（表現）する機会を創出することにより、自己肯定感を高める。
- (2) 児童理解に基づく生徒指導  
子どもたちを多面的にとらえるため、「見る 観る 看る」を基盤とした温かみのある児童理解に努める。
- (3) 道徳・人権教育（情報リテラシーを含む）の推進  
人間関係形成能力を高める基盤としての「こころの教育」に努めるとともに、情報の取捨選択等、その活用能力を高める。

## 4. 研究テーマ

自分の言葉で表現し、

生き生きと伝え合い学び合う子どもの育成をめざして

# 広石小学校

所在地	洲本市五色町広石下 961
児童数	65名
学級数	7学級
職員数	16名
創立	1874(明治7)年4月1日
建物面積	3,096㎡
運動場面積	5,679㎡



## 1. 教育目標

自ら学び 共に成長

## 2. 経営方針

(1) 子どもたちにとって…学びの場

誠意と創意のある教育活動を展開し、子どもを中心に据えた学校づくりを進めることにより、児童一人一人の主体的な学習活動を支援する。また、さまざまな教育活動を通して自ら学ぶ意欲や基礎・基本の定着を高める。併せて、人や自然とのふれあい体験活動等を通して、たくましく、こころ豊かな心身の育成に努める。

(2) 家庭・地域にとって…共育の場

学校と家庭・地域との相互信頼を礎とした連携を構築し、子どもを中心とした三者が協働する「場」としての機能を持った学校づくりに努める。また、地域や先人から学ぶことを通して「ふるさと」に対する郷土愛を醸成する。併せて、学校や通学路、地域における安全確保を図るため、危機管理体制の充実を図り、安全・安心な学校づくりに努める。

(3) 教職員にとって…「志」を実現する場

教育目標の具現化に向け、そのプロセスを共有化することにより、相互の関係性を深める。また、教職員相互の信頼の下、学び合う学校文化を構築するとともに、各個別の務めに果敢に挑戦できる朗らかな職場づくりに努める。

## 3. 努力目標

- (1) 生きる力を育む教育実践
- (2) 児童理解に基づく生徒指導
- (3) 基礎体力づくりと健康安全教育
- (4) 道徳・人権教育の推進
- (5) 共生の心の育成
- (6) 教職員の資質向上並びに環境整備

## 4. 研究テーマ

伝え合い、進んで学び、高め合う - タブレット端末を活用して -  
仲間と見つけよう 新しい自分  
- 楽しく学び わかるをできるにつなぐ授業づくり - (体育)

# 鳥飼小学校

所在地	洲本市五色町鳥飼中309
児童数	77名
学級数	6学級
職員数	15名
創立	1873(明治6)年12月6日
建物面積	3,494㎡
運動場面積	5,201㎡



## 1. 教育目標

豊かな心で 夢を持ち 仲間と伸びる児童の育成

<めざす児童像>

理想と夢を求める子  
いつも素直な明るい子  
感性豊かな元気な子

## 2. 経営方針

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) 社会的自立に向けたキャリア形成の支援
- (5) 特別支援教育の充実
- (6) 兵庫型体験教育の推進
- (7) グローバル化に対応した教育の推進
- (8) 学校の組織力及び教職員の資質能力の向上
- (9) 学校・家庭・地域の連携
- (10) 勤務時間の適正化

## 3. 努力目標

- (1) 学習指導要領に基づき、創意工夫した学習活動の推進
- (2) ふるさとを知り、ふるさとに学び、ふるさとを誇りに思える教育の推進
- (3) ICTを適切に活用した学習活動の推進
- (4) 鳥飼小学校創立150周年記念事業の実施

## 4. 研究テーマ

豊かな心で夢を持ち、仲間と伸びる児童の育成を目指して

# 堺 小 学 校

所在地	洲本市五色町上堺 25-1
児童数	56名
学級数	8学級
職員数	17名
創立	1875(明治8)年9月1日
建物面積	2,760㎡
運動場面積	4,827㎡



## 1. 教育目標

みんな笑顔、みんな元気、自ら未来を切りひらく子の育成  
— つながり合い、学び合う —

さ 最後までがんばる子  
か 考えて行動する子  
い 命を大切にする子

## 2. 経営方針

<めざす学校像>  
力を伸ばす学校  
夢や志を育む学校  
信頼される学校

## 3. 努力目標

- (1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、主体的、対話的な学びの視点から確かな学力の向上を目指す。
- (2) 体験的活動の中で多様な人々と協働し学んだことを、生活や学習に活かす。
- (3) いじめ防止基本方針をもとに、いじめが起きにくい、いじめを許さない学校づくりを進める。
- (4) 授業づくりや集団づくり、適切な関わり方等の取組を充実させるとともに、保護者や関係機関との連携を密に不登校の未然防止と支援の充実を図る。
- (5) 学校安全計画の整備を進め、危機管理体制を充実し、子どもたちの安全・安心を確保する。
- (6) 教職員の協働意識を高め、情報の共有化を図りながら、組織としての機能を高める。
- (7) 教職員がゆとりを持って児童に向き合える時間を確保するため、校務支援システムやICT機器を積極的に活用し業務の効率化と削減に努める。

## 4. 研究テーマ

確かな「言葉の力」を培い、主体的に学び合う児童の育成

# 洲 浜 中 学 校

所在地	洲本市塩屋二丁目 5-2
生徒数	152名
学級数	7学級
職員数	26名
創立	1947(昭和22)年5月15日
建物面積	5,975㎡
運動場面積	9,670㎡



## 1. 教育目標

自ら学び、共に歩み、未来を拓く生徒の育成

## 2. 経営方針

<めざす学校像>  
・命と人権を大切にしている学校  
・生徒の生きる力を育む学校  
・家庭や地域と連携した開かれた学校

<めざす生徒像>  
○主体的に自らの力を高める生徒  
・主体的に鍛える生徒  
・主体的に学習する生徒  
・主体的に奉仕する生徒

<めざす教職員像>  
・人権意識の高い教職員  
・協働体制の確立した教職員  
・教育専門職としての力量を高める教職員

## 3. 努力目標

- (1) 基礎基本の定着と主体的に学習に取り組む態度を育む授業の工夫
- (2) 心に寄り添い、規範意識を高める生徒主体の生徒指導
- (3) 学ぶことの尊さを実感し、自らの生き方・働き方を見つめるキャリア教育の充実
- (4) 個に応じた多面的・多角的な生徒理解と多様なニーズに応じた教育の推進
- (5) 部活動ガイドラインの趣旨の実現及び効率的・効果的な運営
- (6) 教職員としての豊かな人間性の涵養と専門性・実践的指導力の向上

## 4. 研究テーマ

安全・安心な学校づくりに向け  
～教職員の危機管理意識の醸成と危機管理体制の整備、  
安全教育の推進～

# 青雲中学校

所在地	洲本市物部三丁目 10-1
生徒数	488名
学級数	16学級
職員数	42名
創立	1948(昭和23)年10月20日
建物面積	7,733㎡
運動場面積	13,893㎡



## 1. 教育目標

主体的に自らの力を高めようとする生徒の育成

## 2. 経営方針

### 【めざす学校像】

- (1) いきいきとした学校 主体的に考え、行動する活気のある学校
- (2) 清潔感のある学校 職員と生徒が共に取り組む、環境の整備された学校
- (3) 伸びる学校 長所や個性が認められ、高められる学校
- (4) 温かい学校 他者を思いやり、連帯感を深め心安らぐ学校
- (5) 信頼される学校 家庭や地域社会との連携を深め、開かれた学校
- (6) いじめを許さない学校 いじめを許さず、自分たちで解決できる学校
- (7) 安全・安心な学校 健康で安全な生活を送ることができる学校

## 3. 努力目標

- 【学習指導】○基礎基本を定着させ、個に応じた学習指導の充実。  
○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の推進。  
○ICT機器の効果的な活用、及びタイピング力の向上と検索力の向上。
- 【道徳教育】○授業研究を中心とした「道徳科」への対応と、学校教育全体を通じた心に響く道徳教育の推進。
- 【人権教育】○確かな人権意識を育て、「共に生きる社会」の構築に向け主体的に取り組む態度の育成。
- 【生徒指導】○個に応じた多角的な面からのアプローチ。(指導と支援の両輪で)  
○心に寄り添い、規範意識を高める生徒指導。  
○いじめを許さない組織的な対応。
- 【キャリア教育】○学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感し、自らの生き方・働き方を見つめるキャリア教育。  
○自己の生き方を深く見詰め、自己実現をめざし、主体的に進路選択ができる進路指導の推進。
- 【特別支援教育】○一人一人の多様な教育ニーズに応じた教育の推進。  
○特別支援教育の視点を生かした、授業のユニバーサルデザイン化の推進。
- 【ふるさと意識の醸成】○地域の特色を生かした体験活動や行事をはじめとする地域の諸活動等への参加を通じたふるさと意識の醸成。
- 【部活動】○ガイドラインの趣旨の実現及び効率的、効果的な運営。
- 【教職員】○業務改善の推進による生徒と向き合う時間の確保。  
○教職員としての豊かな人間性の涵養に努め、専門性と実践的指導力の向上を図り、本校及び学校教育に対する信頼の構築に努める。

## 4. 研究テーマ

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善とICTを適切に活用した学習活動の充実

# 由良中学校

所在地	洲本市由良町由良 2355-1
生徒数	38名
学級数	4学級
職員数	17名
創立	1947(昭和22)年4月1日
建物面積	4,266㎡
運動場面積	10,546㎡



## 1. 教育目標

ふるさとを愛し「学び合い、支え合い、鍛え合う」  
— ころころ豊かで自立した生徒の育成 —

## 2. 経営方針

### 【めざす学校像】

- (1) 明るく生き生きとした学校。
- (2) 美と秩序のある学校。
- (3) 開かれた楽しい学校。
- (4) 健康で安心安全な学校

### 【めざす生徒像】

- (1) 心身ともに、自らを高めようとする生徒。
- (2) 深く考え、良識ある言動のできる生徒。
- (3) 自然を愛し、命を大切にできる生徒。

## 3. 努力目標

- (1) 基礎基本を定着させるとともに、主体的に学習へ取り組み態度の指導及び評価の充実。
- (2) 「道徳科」の充実と、学校教育全体を通じた心に響く道徳教育の推進。
- (3) 確かな人権意識を育て、「共に生きる社会」の構築に向け主体的に取り組む態度の育成。
- (4) 生徒への指導と支援の両輪での個に応じた多角的な面からのアプローチ。
- (5) 学ぶことや働くこと、生きることの尊さを実感し、自らの生き方・働き方を見つめるキャリア教育。
- (6) 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた教育の推進。
- (7) 地域の特色を生かした体験活動や行事をはじめとする地域の諸活動等への参加を通じたふるさと意識の醸成。
- (8) 部活動ガイドラインの趣旨の実現及び効率的・効果的な運営。
- (9) 業務改善の推進による生徒と向き合う時間の確保。

## 4. 研究テーマ

道徳教育のさらなる充実を目指す授業づくり  
— 道徳の授業における主体的・対話的で深い学びの実践力の取得 —

## 安乎中学校

所在地	洲本市安乎町北谷 1169-2
生徒数	43名
学級数	3学級
職員数	19名
創立	1947(昭和22)年5月21日
建物面積	3,205㎡
運動場面積	4,796㎡



### 1. 教育目標

— ふるさとを愛し 自立する生徒の育成 —

### 2. 経営方針

— もっと安全安心な学校 —

### 3. 努力目標

- (1) 学習指導の充実
- (2) ICT機器の適切な活用
- (3) 道徳、人権教育の推進
- (4) 教職員研修の充実
- (5) 総合的な学習の時間の推進
- (6) 健康安全教育の推進
- (7) 新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする危機管理体制の充実

### 4. 研究テーマ

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の促進
- (2) 不登校対策の推進
- (3) 開かれた学校・心の小中連携の推進

## 五色中学校

所在地	洲本市五色町広石北 125
生徒数	211名
学級数	9学級
職員数	32名
創立	1969(昭和44)年4月1日
建物面積	8,065㎡
運動場面積	23,000㎡



### 1. 教育目標

「希望登校、満足下校」  
— つながりを大切にする五色中 —

<求める生徒像>

進んで 学びあう生徒  
仲間と 支えあう生徒  
精一杯 高めあう生徒

### 2. 経営方針

- (1) 教職員一人一人の力を組織的、機動的に活かす協働体制
- (2) いじめを許さない、こころの通いあう学級・学校運営
- (3) 教職員の資質と実践的指導力向上とメンタルヘルスの増進
- (4) ふるさとを愛する人づくり、地域に信頼される学校づくり

### 3. 努力目標

- (1) 学校組織 “情報共有と機動力”
- (2) 教職員 “授業の工夫改善”
- (3) 教職員 “ワーク・ライフ・バランス”
- (4) 学習指導 “深い学びの実現”
- (5) 生徒指導 “心に寄り添う”
- (6) 進路指導 “夢や志を具現化するキャリア教育”
- (7) 課題教育 “地域に根ざした教育”
- (8) 教育環境 “よりよい環境の追求”

### 4. 研究テーマ

『人と人、学びと生徒の未来の“つながり”を  
大切に学校の完成』

## 6 今後の進め方

学校は、単に長い歴史を刻んできたからというだけでなく、地域共有の財産として、また持続可能な地域を構成する拠点施設として、本来なくてはならないものです。したがって、実際に学校再編に取り組んでいくに当たっては、まず学校再編そのものを行うかどうかも含め、保護者の皆様をはじめ地域住民の皆様との協議を経て進めていきます。

### ① まずは皆様のお声をお聞かせください！

今後の学校の姿を考えていくに当たっての基礎資料とすべく、また学校再編に対する皆様の率直なお声をうかがいたく、インターネットアンケートを実施しております。

今後の洲本市立小・中学校についてのアンケート調査

<https://www.city.sumoto.lg.jp/soshiki/32/17431.html>

回答期限：2024（令和6）年3月31日（日）まで



インターネットが利用できない場合など、紙のアンケート票での提出をご希望される場合は、洲本市役所本庁舎（4階教育総務課）、五色庁舎（地域生活課）、由良支所に備え付けてありますので、お手数ですが各窓口で受け取り・記入いただき、ご提出ください。

### ② コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を導入していきます！

2026（令和8）年までにすべての学校で設置できることを目標としています。保護者の皆様、地域住民の皆様との継続的な話し合いにより、地域の方々が主体的に学校運営に参画し、効果的な学校支援活動を行うなど、地域ぐるみで子どもを育成する体制づくりに取り組んでいく中で、今後の学校の姿についても意見交換を行っていくこととなります。

### ③ 学校ごとの状況や話し合いの内容については、逐次公表していきます！

アンケート結果や今後の話し合いの内容等については、個人情報等秘匿すべき情報を除き、その概要をインターネットで公表する予定としています。

#### 【お問い合わせ・担当窓口】

洲本市教育委員会教育総務課

電話 0799-22-3331

電子メール [kyousou@city.sumoto.lg.jp](mailto:kyouso@city.sumoto.lg.jp)